

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ブロック		
○保護者評価実施期間	2026年1月10日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 5人
○従業者評価実施期間	2026年1月10日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月12日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の療育内容を毎日職員で話し合い、その日の療育内容を考えている。	毎日の変化を注意深く見極め、適切な療育ができるように心掛けています。	対象年齢の利用人数を増やし、同世代での出来ていること、出来ていないことを自ら気付くことが出来るようにしていきたい。
2	保護者との連携やコミュニケーションが充実しています。	緊急性のある連絡に関しては、昼夜問わずに連絡できるような体制をとっております。	現在は、毎週休みの日を設けているが、休みの日を無くし365日安心して預けていただけるような体制を取りたい。
3	児童発達支援と放課後等デイサービス、両方のサービスを一つの事業所で行っているため、幼児～高校生まで幅広い年齢層の子どもたちが利用しています。お互いを尊重し合える関係や関わりが出来ています。	様々な年齢の利用者がいることで、保護者の将来の不安や悩みにも具体的に解決できるような事例を提案できる。	保護者同士の交流の機会を設け、不安や悩みの解決に協力していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士のコミュニケーションが取れる機会を作ることが出来ない。	自分の家庭のことをあまり知られたくないという考えから、交流を持ちたくないという考えもあるようです。	参観日などを設けて、保護者同士のつながりのきっかけが出来るような場所を提供したい。
2	園庭がないため、体を動かすことが出来ない。	障害の特性上、公共の施設での活動が難しい。	園庭を作成し、安心して活動できる場所を確保する。
3	看護師、医療系スタッフが勤務していません。そのため、医療的ケアが必要なお子様の受け入れはできません。	人材を募集しても、医療系の職種の方で児童指導員の資格を持ちわせる方が少ない。	人材確保のため、活動内容を広くアピールしていく。